

第5学年外国語活動学習指導案

時間・場所 公開授業① 5年LR

学 級 5年4組 30名（男子12名，女子18名）

指 導 者 鈴木 雅幸

1 単元名 What do you have on Monday? 「学校生活・教科・職業」(We Can!1 Unit3)

2 単元について

本学級の児童は、外国語活動の時間にチャンツやゲーム等を通して英語に慣れ親しんでいる。外国語活動を楽しみにしている児童が多く、授業時間以外にも、進んで英語を使って話す児童もいる。これまで児童は、Hi, friends!1のLesson4では、好きなものについて、Lesson5では、欲しいものの尋ね方や答え方を学習し、相手に興味関心をもってコミュニケーションを図る活動を積み重ねてきた。

本単元では、自分の将来の夢のためにオリジナルの時間割を作り、それを紹介したり、友達がどんな時間割を作ったのかを予想したりする活動を行う。児童が積極的にお互いのことを伝え合うとともに、それを温かく認め合うことができるようなコミュニケーション活動をねらいとする。

単元の導入では、夢の時間割を作るというゴールを示し、そのために、曜日や教科の言い方や、友達への時間割の尋ね方を知りたいという思いをもたせて活動を展開していく。外国の学校生活と自分たちの学校の共通点や相違点に目を向けさせ、互いの文化を尊重する態度を養いたい。単元の終わりには、自分の夢を叶えるための時間割を考えさせる。それを紹介する際には、場面や伝え合う内容がわかるような掲示物を準備したり、作成した夢の時間割カードを見せながら交流させたりするなどの、視覚的な支援をすることで、安心して伝え合うことができるように配慮する。お互いの夢を受け止め、励まし合う態度を大切にしながら伝え合う活動を行いたい。

3 単元目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- ・進んで教科について尋ねたり答えたりしようとする。
- ・教科について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の大文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。
- ・世界には様々な学校があり、日本と世界の学校生活の共通点と相違点に気付く。

(2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
進んで教科について尋ねたり答えたりしようとしている。	教科について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。また、活字体の大文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しんでいる。	世界には様々な学校があり、日本と世界の学校生活の共通点と相違点に気付いている。

4 単元計画（総時数4時間）

時	目 標	主な学習内容
1	曜日や教科などの言い方を知るとともに、外国の小学校と自分たちの学校生活の共通点や相違点を知る。	日本と外国の学校生活を比べてみよう。
2	曜日や教科の言い方に慣れ親しむとともに、時間割の尋ね方や答え方を知る。	曜日や教科を英語で言ってみよう。
3	時間割の尋ね方や答え方に慣れ親しむ。	時間割を尋ねたり答えたりしよう。【本時】
4	積極的に時間割を伝え合おうとする。	夢の時間割を紹介しよう。

5 本時の指導 (3/4)

(1) 目標

曜日や教科について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。

(2) 「振り返り」の工夫

- ・本時の学習を整理し、曜日や教科について何度も尋ねたり答えたりする活動を行ったことを価値づける。
- ・本時の活動で、曜日や教科について何度も尋ねたり答えたりする活動を行ったこと、夢の時間割作りをして気付いたことを視点として振り返りを書かせ、本時の学びを自覚させる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価の工夫
導入 8分	1 挨拶をする。 Hello. I'm fine./happy/hungry/sleepy. 2 Let's Sing "Let's Start English Class." 3 Small Talk (好きな教科など) 4 本時の見通しをもち、めあてをつかむ。 時間割を尋ねたり答えたりしよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で挨拶をしたのち、児童は隣席児童とあいさつをする。 ・楽しい雰囲気です業が始められるようにする。 ・児童を会話に巻き込みながら話す。 ・本時の目標を提示し、ゴールの姿をもたせる。
展開 27分	5 Let's Chant What do you have on Monday? 6 時間割カード集めゲーム Do you have ~? Yes, I do. I have ~. No, I don't. I don't have ~. 7 Let's Watch and Think 3 ・登場人物が、自分の夢とそのための時間割を話すのを聞き、どんな夢でどんな時間割なのかを線で結ぶ。 8 Activity 1「時間割を紹介しあおう」 ・担任の考えた時間割を紹介する。 ・夢の時間割を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科や曜日を児童に選択させて行うなどして、意欲を高める。 ・デモンストレーションで方法を示す。 ・自分から話しかけられない児童に配慮し声掛けする。 ・答えを確認した後、これらのスピーチ内容を参考に、この後オリジナル時間割を含めた時間割を作ることを伝える。 ・指導者の時間割を紹介し、見通しをもたせる。 ・単に好きな教科を選ばせるのではなく、なぜその教科を選ぶのかという理由を考えさせる。
終末 10分	9 振り返りをする。 振り返りシートに記入する。 ・時間割の尋ね方や答え方をスラスラ言えるようになりうれしい。 (第Ⅱ型) ・次の時間に、夢の時間割を伝えたり聞いたりするのが楽しみだ。 (第Ⅲ型) 10 挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・板書をもとに本時の学習を整理し、曜日や教科について何度も尋ねたり答えたりする活動を行ったことを価値づける。 ・本時の活動で、曜日や教科について何度も尋ねたり答えたりする活動を行ったこと、夢の時間割作りをして気付いたことを視点として振り返りを書かせ、本時の学びを自覚させる。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">時間割の尋ね方や答え方に慣れ親しんでいる。【振り返りシート・発表】</p>

5 本時の指導（4／4）

（1）目標

積極的に時間割を伝え合おうとする。

（2）「振り返り」の工夫

- ・単元の学習を整理し、相手を大切にしながら紹介活動を行ったこと、これまでの学習を生かして紹介したことを価値付ける。
- ・単元を通しての自分の成長や考えたことを視点として児童に振り返りを書かせ、交流をすることで本単元の学びを自覚させる。

（3）展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価の工夫
導入 5分	1 挨拶をする。 2 Let's Sing. “Let's Start English Class” 3 Small Talk（好きな教科など） 4 本時の見通しをもち、めあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">夢の時間割を紹介しよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で挨拶をしたのち、児童は隣席児童とあいさつをする。 ・本時の学びに向かう楽しい雰囲気をつくる。 ・児童を会話に巻き込みながら話す。 ・単元のゴールである夢の時間割を紹介することを確認する。
展開 30分	5 Let's Chant “What do you have on Monday?” 6 Activity 2 「夢の時間割を紹介しよう。」 A What do you have on Monday? B I have English, I have P.E., I have Japanese, I have home economics, I have soccer time. A Oh, “soccer player.” B That's right. I want to be a soccer player. A “soccer time”て、何をする時間なの？ B たくさん練習したいから、オリジナルの教科を考えてみたよ。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じて、言葉やスピードを変える。 ・不明瞭な発音は、地域ボランティアの発音を聞かせ、安心して発音できるようにする。 ・クイズ形式で紹介するデモンストレーションをし、活動の見通しをもたせる。 ・ペアを作り、質問したり答えたりして、夢の時間割を紹介させる。お互いが紹介し終わったら、片方が他の席に移動し、多くの交流が行えるようにさせる。 ・工夫のある夢の時間割を考えた児童を取り上げ、発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">積極的に時間割を伝え合っている。 【行動観察・振り返りシート】</div>
終末 10分	7 本時の振り返りを行う。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんは、サッカー選手になるためにオリジナルの教科を考えていた。夢を叶えるために、必要な教科をしっかり考えていたので応援したい。（第Ⅲ型） ・将来の夢を叶えるために、今必要な勉強を考えることができた。考えるのが楽しく、やる気も出た。（第Ⅳ型） </div> 8 挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習を整理し、相手を大切にしながら紹介活動を行ったこと、これまでの学習を生かして紹介したことを価値付ける。 ・「単元を通しての自分の成長」や「考えたこと」を視点として児童に振り返りを書かせ、交流をすることで本単元の学びを自覚させる。 ・積極的にクイズに参加したこと、英語を使おうとしたことを称賛する。